

令和4年10月13日

社会保障審議会医療部会  
部会長 永井 良三 様

## 意見書

社会保障審議会医療部会 委員  
都竹 淳也

医療部会を所用により、欠席いたします。

下記の通り、書面にて意見を提出いたしますので、ご検討の程、よろしくお  
願い申し上げます。

## 記

## 議題2 第8次医療計画等に関する検討会における検討状況について

## 1. 医師等の確保及び偏在対策

安心で質の高い地域医療サービスを安定的に提供するためには、産科・小  
児科・外科・麻酔科等の医師・看護師等の不足や地域間・診療科間等の偏在  
の実態を踏まえ、地域に根差した医師を養成するなど、地域を支える医師・  
看護師等の絶対数の確保及び偏在の是正に資する即効性・実効性のある施  
策を早急に講じるとともに、十分な財政措置も必要である。

また、医師や看護師・助産師等医療を支える専門職の養成・確保及び地域  
の定着等を図るため、労働環境の改善等に資する支援策を講じるとともに、  
十分な財政措置を講じるべきである。特に、女性医師及び看護師等の復職を  
支援するなど、離職防止等に資する支援策を充実させる必要がある。

さらに、新専門医制度については、医師偏在を助長すること等のないよ  
う検証を行うとともに、都市自治体等の意見を十分に踏まえ、総合診療を行  
うなど地域に貢献する医師にインセンティブが働く仕組みの構築や専門医  
の資格取得において地域医療に従事する医師を優遇するなどの措置を、国  
の責任において講じること必要である。

## 2. 医師偏在対策、医師の働き方改革、地域医療構想等

医師偏在対策、医療従事者の働き方改革、地域医療構想等の地域医療へ

の影響が大きい取組については、「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」等において、地方と丁寧かつ十分に協議を行い、その意見を施策に反映するとともに、地域の実情に応じた十分な支援策を講じることが必要である。

特に、地域医療構想については、新型コロナウイルス感染症対策の実施によって、地域住民の命を守る公立・公的医療機関が担う役割の重要性が改めて認識されたことを踏まえれば、再編統合を前提とすることなく、地域医療の実情を考慮し、地域の意思決定を尊重するべきである。

### 3. 救急医療及び周産期医療体制等に係る支援

小児救急医療をはじめとする救急医療及び周産期医療等の体制整備・運営等の充実強化を図るため、実効ある施策と十分な財政措置を講じることが必要である。

また、医師の働き方改革によって、大学の医局等からの医師派遣の中止・削減等により、救急医療が縮小するなど、地域医療が崩壊することがないよう、地域医療の実情を踏まえ、慎重な制度移行に努めるべきである。

### 4. がん対策

がん対策の一層の充実を図るために、新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を拡充するなど、都市自治体を実施するがん検診事業に対する十分な財政措置を講じるとともに、受診率の向上策を強化するべきである。

また、検診方法及び検診体制の拡充を図るとともに、十分な財政措置も必要である。

以 上